

## 感謝 小田 孝志会長

### 「Activity」

「Activity」をテーマとして掲げ、会員一人一人の行動こそ、クラブの活力の源泉であると確信しております。中央分区の大会（IM）には当クラブから17名の参加。更に地区大会には20名参加していただきました。この流れで「地区研修協議会」には、ほぼ全員で対応していただき、私が昨年より提唱していた「満点はとれなくても及第点」は採れたと自負しております。

### 「卓話の充実」

毎週の例会時間の50%を割く「卓話」。卓話を充実させることが、「出席率の向上」につながることは、自明の理であります。更に講演後、卓話が会員一人一人に有益な情報や知識として残るならば、意義深いと思われまます。

### 「New Wave」

世界のロータリークラブ全体として社会経済の変革に呼応し、RIはこれらの変化に柔軟に対応するとロン・ジャーム会長は述べました。（2016年ソウル国際大会にて）当クラブもかかる変化に順応し、「入会金免除」を断行しました。

これによって、当クラブのアキレス腱である、「会員減少のトレンド」に歯止めがかかり、徐々に、しかし確実に会員増加のトレンドに転換すると思われまます。

### 「ロータリー希望の風奨学金に100万円贈呈」

2011年3月、約2万人が津波で亡くなりました。勉強しようと思っていた子供たちが突然、進学どころか家族を失い、精神的に落ち込んでしまいました。親や兄弟あるいはその全てを失い、暗いどん底に突き落とされた子供たちに、ロータリークラブは奨学金を支給し進学への夢を叶えてあげることになりました。

こうした希望の風奨学金にお茶の水RCは今年度100万円を贈呈しました。絶望の子供たちに一条の光をあて、暗闇の中にいる子供たちに大きな勇気を与えていることは間違いありません。当クラブからの100万円は「絶望の中的一条の光」になることでしょう。

今年度は皆様の力強いActivityにより、活力ある一年となり、心から感謝申し上げます。



## 幹事の1年を終えるにあたって 奥山 聡幹事

幹事として1年間、何かをしたかと振り返ると何も思い浮かびません。

会員増強も、熱心で積極的な新しい方々が加わって下さり、嬉しい限りです。幹事就任当初に「気に掛けて、心に掛けて、声掛けるに取り組みます。」とお話しましたが、あまり出来たようにも感じません。大きな責任を感じていた地区研修協議会も事前には、事務局の須永さんの奮闘と佐々木実行委員長、大原副実行委員長、小田会長の準備行動に頼って、私はほとんど何もしていません。当日も、東京お茶の水ロータリークラブの皆さんの力を目の当たりにしながら、一会員として役目を果たすだけで済んでしまいました。

ただ、幹事になったのだから今まで以上に地区の行事には積極的に参加しました。特に地区研修会は爽り多いものでした。

もともと私はロータリーを知らないまま、入会しました。どこかでボランティアがしたいと思っていたので、慈善団体に参加するというような理解で入りました。ですから、「ロータリーは単なる慈善団体ではない」という発言を聞く度に、違和感を覚えていました。ですが、いわゆる「職業奉仕=vocational service」の研修を受け、意味を考え始めてから、今までの考え方が間違っていたと感じました。「職業奉仕=vocational service」は、他の慈善団体にはない発想だと思います。余暇、余力の中で行う慈善活動とは違う。だから、多様な職種の中で取り組んでいる人達と出会うための職業分類と例会が必要なのだと思います。「入りて学び、出でて奉仕せよ」という事の意味もそこにつなげて、理解しました。職業奉仕と他の4大奉仕を同列に扱うべきではないとも考えるようになりました。職業奉仕が根幹で、その高潔性や倫理観を研ぎ澄ますための体験学習の場が、他の4大奉仕なのかなと現在は解釈しています。

次に長年考えてきた安全保障とロータリークラブの関係について明確になったことがあります。平和を目的とするという意味で、防衛と安全保障という言葉がよく同義語のように使用されています。ですが、ある点においてこの2つの言葉は正反対の性質を持ちます。

防衛とは、ある国を敵国と見定めないと成り立たない言葉です。仮想敵国が必要です。ですが、安全保障とはいかに敵を作らないか、味方を増やすかという言葉なのです。通常国家間では、防衛は武力、安全保障は外交の問題としてとらえられます。ですが、国家間だとしても対立の関係になりやすい。ここで、まさにロータリーの果たせる役割は大きいと思います。世界中のほとんどの国と地域に同じ理想の下仲間がいて連帯している。真に世界平和に貢献できるのはこのような組織だと確信しました。学びの多い一年でした。情熱的な小田会長の後についているうちに1年が過ぎてしまいました。皆様のご協力に心から感謝いたします。1年間有難うございました。

